

東日本大震災後における輸出の外延と内延への分解

2015年11月

桑波田浩之* (横浜国立大学 成長戦略研究センター)

報告要旨

本稿は Kehoe and Ruhl (2013) の分析手法を用いて、東日本大震災における輸出減少を extensive margin と intensive margin に分解し、その要因を分析した。その結果、震災後の輸出減少は、少額の輸出品目の変化である extensive margin ではなく、輸出額の大きな品目の変化である intensive margin によって説明されることが明らかになった。例えば、震災後の 2011 年 4 月、日本全体では intensive margin は前年同期比 15% 減少したのに対し、extensive margin は 9% 増加した。更に、それら減少率が大きかった品目は、自動車、船舶、印刷機器、テレビなど製造工程においてサプライチェーンが重要な役割を果たす製造業の品目に集中していることがわかった。

* hiroyuki.kuwahata@gmail.com